

## 関西支部第14回学生研究論文発表会の開催報告

関西支部運営委員 横田明紀 (よこた あきのり)  
立命館大学経営学部

### 1. 概要

毎年恒例となりました関西支部主催の第14回学生論文発表会を、2019年2月23日(土)に立命館大学大阪いばらきキャンパスにおいて開催いたしました。この発表会は経営情報関連の研究を行っている学部、修士・博士前期課程、ならびに博士・博士後期課程の学生に勉学・研究の成果を発表する機会を与え、質疑応答を通じてよりよい研究へと発展させるための一助とし、優秀な発表を選定して表彰することにより経営情報関連分野の研究・教育の発展に資することを目的に開催しております。

### 2. 発表会について

今回は卒業論文1件、修士論文3件の推薦を受け、計4件の報告が行われました。それぞれの発表者とタイトルは、以下の通りでした。

#### 発表者の氏名とタイトル

卒業論文の部 (1件)

石丸悠太郎 (大阪府立大学現代システム科学域) 顧客の移動履歴とIDPOSデータを用いた店舗内回遊モデル構築に関する研究
---

修士論文の部 (3件)

堀 信也 (兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科) 電子自治体推進における自治体クラウドの現状と課題
高木祥吾 (立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科) 介護施設におけるコミュニケーションロボットの普及と可能性—狩野モデルによる考察—
Baldannyam, Darimaa (兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科) ソフト防災に資する町丁目別洪水浸水想定域内人口推計の研究

1人あたりの報告時間を学部の学生は発表10分・質疑5分、修士の学生は発表15分・質疑10分と定

め、研究内容についてのプレゼンテーションと活発な質疑応答が行われました(写真1,2)。また、各発表者からは、事前にそれぞれの論文での研究内容をまとめた予稿を4ページで作成していただき、それらをまとめた予稿集の発行も行いました。



写真1 発表の様子



写真2 質疑の様子

### 3. 表彰式について

関西支部の運営委員のメンバーで構成する審査委員会によって、各発表者の予稿、発表、および質疑の内容を審査し、最優秀賞と優秀賞を贈呈しまし

た。厳正なる審査の結果、最優秀賞には立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科の堀信也さん（写真3）、優秀賞には兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科のBaldannyam Darimaaさん（写真4）が決定しました。



写真3 最優秀賞の授与



写真4 優秀賞の授与

#### 4. おわりに

最後に森田裕之関西支部長より発表会のまとめとなる講評が行われ、発表者全員に対し

- ・これまで取り組んできた成果が、どのような実用性を有しているのか
- ・研究してきたことの貢献はどこにあるのか
- ・自分の研究の良さをどのように客観的に示せるのか

といった点とともに、内容の切り分け、アプローチ方法、状況の整理など、未熟だった点については今後も継続して考えて欲しいと伝えられました。今回の発表会には学生、教員、企業などから合計18名の参加がありました（写真5）。また、発表会終了後は場所を変え、発表者とさらに深い議論を行うことができました（写真6）。



写真5 受賞者を囲んでの記念写真



写真6 懇親会の様子

次年度も引き続き学生研究論文発表会を開催予定です。本年度は発表者数、参加者数ともに少なかったことが、唯一、残念でした。本研究発表会は関西支部以外からの発表や視聴も可能です。次年度は全国より多数の発表および参加のお申し込みがあることを、期待しております。